

## 全日本F3選手権 第1戦&第2戦 富士 専有走行レポート

2009年4月3日(金)

気温 14℃、路面温度 23℃で午前 10 時に始まった最初のセッション。まずまずの好天に恵まれ、セッション終盤には気温が 20℃近辺まで上昇する中、明日からの開幕ラウンドをにらんで各ドライバーが精力的に走り込んだ。

そのセッションは大きなアクシデントも中断もなく、午前 10 時 55 分にチェッカー。1 分 34 秒 919 の C クラスストップタイムをマークしたのは、「ずっとユーズド走って、セットアップに時間を掛けた」と語り、昨年の開幕ラウンドを連勝したトムスの井口卓人。これに僅差の 1 分 35 秒 040 で同じくトムスのマーカス・エリクソンが続き、3 番手はスリーボンドの安田裕信。

N クラスではエイムスポーツの関口雄飛が 1 分 36 秒 849 でトップを奪い、KCMG のアレキサンドレ・インペラトリーが 1 分 37 秒 208、HFDP RACING の小林崇志が 3 番手となった。

午後 2 時 40 分からのセッションも引き続き晴天となったが、こちらは気温 15℃、路面温度 30℃でスタート。C クラスでは序盤から井口がモニターのトップを占めるが、セッション終了間際、ニュータイヤでのアタックが始まるとタイム更新ラッシュに。ファイナルラップとなった各車だが、一旦国本雄資がトップに立つも、これをエリクソンが逆転。再逆転を狙った井口はクリアラップに恵まれず 2 番手に。この結果、1 分 34 秒 018 をマークしたエリクソンが「明日の開幕戦に向けて、良い一日になった。セットアップを色々試して、まだ完璧じゃないかもしれないけれど、悪くない流れだと思う」と、総合でのストップタイムをマークすることに。井口、国本、そしてル・ボーセの嵯峨宏紀が 4 番手となった。

一方Nクラスでは、HFDP RACING の山本尚貴が 1 分 36 秒 130 でクラストップを獲得、「午前にはトラブルもあってあまり走れなかったが、クルマは良いので明日は絶対に勝ちたい」とコメント。2 番手には関口、3 番手には小林が続いた。

4 日土曜には、10 分間のインターバルを置いて行なわれる 15 分間の公式予選 2 回、そして 15 周で争われる第 1 戦決勝レースが、そして、5 日日曜には、21 週の第 2 戦決勝レースが行われる。



▲ 総合ストップタイムをマークしたマーカス・エリクソン



▲ N クラストップタイムの山本尚貴